

例会場 厚木商工会議所5F 大会議室
例会日 毎週火曜日 12:30～
事務所 厚木市栄町1丁目16番15号 厚木商工会議所内

第2410回例会（3月9日）☆司会 常磐重雄 副SAA

点鐘 …西寫洋一 会長

斉唱 …奉仕の理想

ゲスト紹介

高橋博明様（ロワジールホテル厚木 総料理長）
工藤豊人様（ロワジールホテル厚木 和食料理長）

会長報告

◎ガバナー事務所より

- ・グリーンティングカード アンケートについて
- ・優秀卓話者 再度推薦のお願い
- ・米山寄付金納入明細表（2010年1月）送付の件
- ・地区補助金申請書案内（2010～2011年度）
申請期間 1月12日～3月14日（2ヶ月）
プロジェクト実施期間
7月1日～2011年4月30日（10ヶ月間）
補助金対象金額 1プロジェクト 1,000
ドル～5,000ドル
- ・2010年地区協議会ご来場のバス利用について
- ・ハイチ支援金に対するお礼とチリ地震災害支援ご協力
のお願い
RI第2780地区 ハイチ義捐金
総額 2,018,614円

◎厚木スカウト育成連合会より

- ・青少年育成助成依頼について（お願い）
- ・協力依頼について 厚木商工会議所 会頭より

◎UNICEF（国際連合児童基金）より

- ・「ハイチ地震緊急・復興支援募金」にご協力
ください。

幹事報告

◎例会変更

*寒川RC

- ・親睦家族移動例会
日時：月1日（月）→ 7日（日）
- ・休日休会
3月8日（月）クラブ定款による
22日（月）振替休日のため

*秦野名水RC

- ・秦野3クラブ合同植祭に振替
日時：3月18日（木）→ 21日（日）
- ・夜間移動例会
友好クラブ古河東RCとの合同例会
日時：3月18日（木）

◎週報

1. 厚木中RC
2. 伊勢原RC
3. 伊勢原平成RC
4. 伊勢原中央RC
5. 相模原RC
6. 相模原グリーンRC
7. 相模原南RC

委員会報告

ゴルフ同好会 厚木RCゴルフコンペ4月7日（水）
本厚木CC アウトコース 9:03 スタート

理事・役員会

◎第9回 理事・役員会

日時：3月9日（火）13:30～
場所：厚木商工会議所 408号室

今日のお祝い 「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

*会員誕生日

下山秀弥君 3月16日
青木啓次君 3月17日

今日の卓話（3月16日）

「NTT 東日本の災害対策」

担当：清水勝雄君

*夫人誕生日

小林 透君（潤子夫人）3月18日

次回の卓話（3月23日）

担当：黒柳告芳君

議題：1. 会長あいさつ 西寫洋一 会長
2. 例会行事 前田賢一 幹事

3 月度例会

2日(火)「創立記念例会」 西寫洋一 会長
9日(火)「会員卓話」 高倉 茂 会員
16日(火)「会員卓話」 (井口直輔 会員)
23日(火)「会員卓話」* GSE 黒柳告芳 会員
30日(火) 休会

4 月度例会

6日(火)「春の親睦例会」
西迫 哲 親睦活動委員長
13日(火)「ロータリー雑誌月間」
青木啓次 広報雑誌年史委員長
20日(火)「会員卓話」 櫻井靖次 会員
27日(火)「次年度委員長例会」
柳田純昭 次年度会長
次回理事会予定 4月13日 例会終了後 408号室

特別スマイル

黄金井一太君

満83才の誕生祝ありがとうございました。50周年記念までは大丈夫の様です。その節はよろしくお願ひ申し上げます。本日は早退させていただきます。

西寫洋一会長

先週の創立記念例会では黄金井チャーターメンバー

卓話 (3月9日)

から歴代会長のお話を伺いましてとても楽しい思いをさせて頂きました。又、私の誕生祝のケーキを頂きまして感謝をしております。小林さん西迫さんありがとうございました。

西寫洋一会長 前田賢一幹事

先週の創立記念例会で多くの方に参加頂きましてありがとうございました。卓話では黄金井一太チャーターメンバーに創立当初の会長の方たちの貴重なお話を頂き、また、当日の会場とおいしい食事をご提供頂きまして、誠にありがとうございました。

飛鳥井豊君

3月2日の結婚記念日には重ね重ねお祝をいただきありがとうございました。重ねてニコニコさせていただきます。

黄金井康巳君

先週の創立記念例会には弊社セルバジーナをご利用いただき誠にありがとうございました。尚、所用のため本日は早退させていただきます。

黒柳智太郎君

申し訳ありませんが、本日早退させていただきます。

今日のお花

かわづ桜 (櫻井靖次君)
椿 (壽永純昭君)

担当：高倉 茂君



「料理は心、愛」

ロワジールホテル厚木 総料理長 高橋博明様

1) 私たち料理人は美味しい物、真心のこもった料理を提供するべく日々努力をしております。

まずその中でも衛生管理の部分からお話させていただきます、私たちの職場では月一回の検便、微生物の細菌検査を実施し食中毒などの防止対策を行っています。

個人におきましては手洗い、アルコール消毒、

うがいを頻繁に行い予防につとめています、切り傷の有る物は手袋の着用を義務付けています。

調理場の衛生につきましてもアルコール消毒、漂白剤での消毒、水滴、ほこりなどの拭き取りなどを行い衛生的の調理場作りをしています。

その様な事をしながら日々調理を行っています。

料理に対する料理人の姿勢ですがわれわれ料理人はお客様を第一に考え目線に立って料理を作っていかなければいけない自分勝手な料理は（料理人のマスターベーションである）。

料理の対する情報収集、言葉の勉強、調理器具の把握が大事である。（その理由）

お客様とは常に真剣勝負である。（その訳）

料理人は経験が大変大事である。（その訳）

日々の努力を怠らない、スポーツと一緒に

詐欺師から料理人へ。（その訳）

心、技、体そろっていないければ料理は作れない（その訳）

学生時代より勉強する時間が長い（その訳）

2) フランス料理の歴史

フランス料理はイタリアから伝わって来たと言われる説があります。

フランスのアンリ2世と婚姻されたメディチ家のお嬢様に付いてきたイタリアの料理人が現在のフランス料理の形を作ったとされている。

メディチ家の晩餐という書物もあり古典的な料理が描かれています。

その後、フランス人のオーギュスト エスコフィエにより現代フランス料理が確立された。後にポールボギューズ、トロワグロ兄弟の手によりヌーベルキュイジーヌ<新フランス料理>が確立される。

日本では天皇の料理番と言われた秋山徳蔵氏や荒田勇作氏などが有名である。（西洋料理へのこだわり、得意分野、失敗談）

私の一番のこだわりはソースです（古典的なソースから現代的なソースまで）

素材の見分け方（その訳）

近年はあまり気にしないコンソメスープの美しさ（その訳）

温製料理は得意（その訳）

日本では珍しいモロヘイヤのスープ（その訳）

オーダーも無いのに伊勢海老50本（失敗談）

捨てられたアメリカンソース（失敗談）



「仕事への心意気」

ロワジュールホテル厚木 和食料理長 工藤豊人様

「好きこそ物の上手なれ」というように仕事を選び、さらに上達するには「まず好きである」事が第一の条件である。

好きでしているうちに仕事に楽しみが生まれ、その楽しみが一層の上達を促すのである。料理を業とする私共の仕事でも、手とり足とり技術的な事をいくらやかましく教えても本人に覚えようとする意欲がなければ進歩はない。これは言われただけの事を義理にしているからで、人（先輩）に教えられた事に自分の創意を加え何とか能率を上げようという心構えが足りないからである。

この心構えはどんな仕事にも必要なことだが、料理上手になるにはこの心構えに加え味覚神経の確かさが要求される。

多くの人の中には、【味盲】つまり味覚音痴といわれる人がいて、このような人は気の毒だがいくら修業してもだめである。ちなみに日本人で国民全体の約十三パーセントが味盲者であると言われている。

どんな仕事でも始めの三年は必ず「辛さ又飽き」が来るものである。

一般には、「自分の世の中への甘え・親への甘え・スランプ」などが有るが、いくら好きでやってもスランプは必ず訪れ、言い知れない壁に突き当たって悩むものである。これを克服するには、「創意と工夫・感激」が必要である。例えば、自分に与えられた仕事以外にも目を向けて疑問を持つこと、そして全力を傾けてその疑問と対峙するのである。やがて、自分だったらこうするというひらめきが生

まれる。

その「ひらめき」がきっかけとなって疑問は解け、自ら見出した工夫によっておのずと「甘え・スランプ」から解放されるものである。特に料理に携わる人は、自分のしている仕事は人間の生命・倅せを作っているのだという大きな感激を胸にして、一層の意欲をかき立てるべきである。自分の作った料理は名も知れぬお客様によって食べられているのである。

中には一度しか店に来なかった方もあるかもしれない。しかしそのお客様が、あの時・あの店で食べた料理は美味しかったと一生活の片隅で覚えてくれてもらえるよう、いつも精神誠意料理の仕事に努める事により、料理人冥利につきる大きな喜びが湧くと言うものである。

近頃の若い人達は、仕事を自分のものにしようとする努力や意欲が弱く、享楽に耽ることばかりを考えている人が多いようだ。

昔は、技術を自分のものとして、将来の生活の糧にする意欲に燃え、仕事が充実する楽しさを求めたものだった。娯楽も恋愛もいいが、今の青年にはまず将来の生活設計を考え、やがて妻子を養うだけの腕を持たなければならないことを自覚して欲しいと思う。

高嶺の花ばかりを求めて、己の足で大地をしっかりと踏み締めている人が少ないのは、残念なことである。これもちょっとしたことですぐに名が出て、世にもてはやされる時代の風潮がそんな気持ちを起こさせるのでしょうが、目先のことだけでなく、一つの仕事に命を懸け、二十年・三十年先のことを考えて自己鍛錬に励む青年がもっと多く出てきてくれることを祈っている。

それにはまず、自分の仕事を大切に強い集中力で修業に励んで欲しいと思う。

出席報告 <会員 42 名、出席対象 37 名>

2月23日例会 確定出席率 84.21%	3月10日例会 出席 32名 欠席 5名 出席率 82.76%
<事後メイクアップ> 高橋 宏君 (2月26日 厚木県央 RC) 松本好正君 (2月26日 厚木県央 RC)	<今回欠席> 川上 肇君・黒柳告芳君・難波有三君・福住桂司君・門田高明君